

県内の将来推計人口について

滋賀県は全国でも数少ない人口増加県である。今回は、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年（2013）年 3 月推計）」のデータをもとに、県内の 2040 年の人口予測についてみてみたい。

1. 県人口の減少率は▲7.2%（2010 年比）で、全国 3 番目に低い

「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年（2013）年 3 月推計）」とは、将来の人口を、都道府県別・市町村別に求めることを目的としたもので、平成 22（2010）年の国勢調査を基に、平成 22（2010）～52（2040）年までの 30 年間（5 年ごと）について、男女 5 歳階級別に推計されたものである。

今回の推計によると（表 1）、日本の総人口は、2010 年時点で約 1 億 2,805 万 7 千人だった。以降は減少を続けて、40 年には 10 年と比べて約 2 千万人減少（▲16.2%）し、約 1 億 727 万 6 千人となる（10 年を 100 としたときの指標は 83.8）。また、40 年にはすべての都道府県で 10 年の人口数を下回る。

滋賀県は、10 年時点では 141 万 777 人だった。15 年には 141 万 9,654 人まで増加するが、20 年では減少に転じる。40 年には 10 年と比べて約 10 万人減少し、約 130 万 9 千 3 百人となる（同指数は 92.8）。減少率にすると▲7.2%で、沖縄県（▲1.7%）、東京都（▲6.5%）に次いで全国で 3 番目に低くなるものと推計される。

表1 都道府県別人口と指数(平成22年=100)

地 域	総人口(1,000人)							指数(平成22年=100)	
	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)
全 国	128,057	126,597	124,100	120,659	116,618	112,124	107,276	94.2	83.8
北海道	5,506	5,361	5,178	4,960	4,719	4,462	4,190	90.1	76.1
青森県	1,373	1,306	1,236	1,161	1,085	1,009	932	84.6	67.9
岩手県	1,330	1,266	1,206	1,140	1,072	1,005	938	85.7	70.5
宮城県	2,348	2,306	2,269	2,210	2,141	2,062	1,973	94.1	84.0
秋田県	1,086	1,023	959	893	827	763	700	82.2	64.4
山形県	1,169	1,116	1,062	1,006	949	893	836	86.0	71.5
福島県	2,029	1,913	1,874	1,780	1,684	1,587	1,485	87.7	73.2
茨城県	2,970	2,922	2,853	2,764	2,661	2,546	2,423	93.1	81.6
栃木県	2,008	1,974	1,926	1,867	1,800	1,725	1,643	93.0	81.9
群馬県	2,008	1,971	1,920	1,858	1,787	1,711	1,630	92.5	81.2
埼玉県	7,195	7,206	7,133	6,991	6,796	6,562	6,305	97.2	87.6
千葉県	6,216	6,192	6,122	5,987	5,806	5,592	5,358	96.3	86.2
東京都	13,159	13,349	13,315	13,179	12,957	12,663	12,308	100.1	93.5
神奈川県	9,048	9,148	9,122	9,010	8,833	8,607	8,343	99.6	92.2
新潟県	2,374	2,297	2,210	2,112	2,009	1,902	1,791	89.0	75.4
富山県	1,093	1,064	1,028	986	940	892	841	90.2	77.0
石川県	1,170	1,153	1,128	1,096	1,060	1,019	974	93.7	83.3
福井県	806	785	760	731	700	668	633	90.7	78.5
山梨県	863	838	809	776	741	704	666	89.9	77.2
長野県	2,152	2,091	2,019	1,938	1,851	1,761	1,668	90.0	77.5
岐阜県	2,081	2,035	1,978	1,908	1,830	1,746	1,660	91.7	79.8
静岡県	3,765	3,696	3,601	3,480	3,343	3,193	3,035	92.4	80.6
愛知県	7,411	7,470	7,440	7,348	7,213	7,046	6,856	99.2	92.5
三重県	1,855	1,821	1,773	1,715	1,649	1,580	1,508	92.4	81.3
滋賀県	1,411	1,420	1,414	1,398	1,375	1,345	1,309	99.1	92.8
京都府	2,636	2,615	2,567	2,499	2,418	2,325	2,224	94.8	84.4
大阪府	8,865	8,808	8,649	8,410	8,118	7,794	7,454	94.9	84.1
兵庫県	5,588	5,532	5,422	5,269	5,088	4,888	4,674	94.3	83.6
奈良県	1,401	1,370	1,330	1,280	1,223	1,161	1,096	91.4	78.3
和歌山県	1,002	961	917	869	820	769	719	86.7	71.8
鳥取県	589	567	544	520	494	468	441	88.3	74.9
島根県	717	687	655	622	588	555	521	86.7	72.6
岡山県	1,945	1,913	1,868	1,811	1,749	1,682	1,611	93.1	82.8
広島県	2,861	2,825	2,767	2,689	2,599	2,499	2,391	94.0	83.6
山口県	1,451	1,399	1,340	1,275	1,208	1,139	1,070	87.9	73.7
徳島県	785	756	723	686	649	611	571	87.4	72.7
香川県	996	969	937	900	860	818	773	90.4	77.6
愛媛県	1,431	1,383	1,329	1,269	1,206	1,141	1,075	88.7	75.1
高知県	764	730	693	655	616	576	537	85.6	70.2
福岡県	5,072	5,046	4,968	4,856	4,718	4,559	4,379	95.7	86.3
佐賀県	850	828	803	775	745	714	680	91.2	80.0
長崎県	1,427	1,371	1,313	1,250	1,185	1,118	1,049	87.6	73.5
熊本県	1,817	1,776	1,725	1,666	1,603	1,538	1,467	91.7	80.7
大分県	1,197	1,169	1,134	1,094	1,050	1,004	955	91.4	79.8
宮崎県	1,135	1,107	1,073	1,034	991	947	901	91.1	79.3
鹿児島県	1,706	1,650	1,588	1,522	1,454	1,386	1,314	89.2	77.0
沖縄県	1,393	1,410	1,417	1,414	1,405	1,391	1,369	101.5	98.3
減少県	38	41	46	47	47	47	47		

注1) 指数とは、平成22(2010)年の総人口を100としたときの総人口の値のこと。
 注2) 減少県とは、5年前より総人口が減少した都道府県の数のこと。

2. 19市町のうち、栗東市をはじめ3市で人口増加

人口推計を県内の全19市町別で見ると(表2)、40年時点では「栗東市」、「守山市」、「草津市」の3市で人口が増加する。2010年を100とした場合の人口の指数はそれぞれ112.9、112.8、110.9と、110を超える高水準になると見込まれる。

その他の16市町では人口が減少する。最も減少率が大きいのは「甲良町」(人口指数61.6)で、次に「多賀町」(同67.6)、「高島市」(同73.8)が続く。そのなかで、「滋賀県」(同92.8)を上回るのは「愛荘町」(同99.2)と「大津市」(同96.7)の2市町のみである。滋賀県を上回る自治体数は合計で5市町、下回るのは14市町となり、偏りがみられる。また、市町別の指数の差は、最大で45.3(栗東市:112.9、多賀町:67.6)となり、地域差が拡大するとみられる。

表2 県内市町別人口と指数(平成22年=100)

自治体	人口(人)							指数(平成22年=100)	
	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成37年 (2025)	平成52年 (2040)
滋賀県	1,410,777	1,419,654	1,414,000	1,398,322	1,375,179	1,345,284	1,309,300	99.1	92.8
大津市	337,634	344,724	346,224	344,534	340,524	334,503	326,627	102.0	96.7
彦根市	112,156	112,605	111,914	110,477	108,495	105,989	102,940	98.5	91.8
長浜市	124,131	122,313	119,755	116,568	112,922	108,900	104,646	93.9	84.3
近江八幡市	81,738	81,609	80,760	79,386	77,600	75,465	73,051	97.1	89.4
草津市	130,874	137,055	140,867	143,478	145,064	145,603	145,136	109.6	110.9
守山市	76,560	80,352	82,686	84,304	85,406	86,063	86,337	110.1	112.8
栗東市	63,655	66,365	68,302	69,688	70,690	71,412	71,889	109.5	112.9
甲賀市	92,704	90,774	88,507	85,731	82,624	79,225	75,552	92.5	81.5
野洲市	49,955	49,958	49,582	48,805	47,714	46,389	44,915	97.7	89.9
湖南市	54,614	53,807	52,889	51,526	49,773	47,620	45,143	94.3	82.7
高島市	52,486	50,626	48,517	46,214	43,813	41,309	38,723	88.1	73.8
東近江市	115,479	113,449	111,065	108,127	104,743	100,948	96,792	93.6	83.8
米原市	40,060	38,879	37,575	36,146	34,676	33,149	31,541	90.2	78.7
日野町	22,870	22,582	22,129	21,584	20,970	20,274	19,477	94.4	85.2
竜王町	12,916	12,363	11,899	11,425	10,914	10,356	9,719	88.5	75.2
愛荘町	20,118	20,304	20,371	20,357	20,287	20,154	19,952	101.2	99.2
豊郷町	7,566	7,587	7,525	7,431	7,316	7,167	6,989	98.2	92.4
甲良町	7,500	6,961	6,504	6,029	5,557	5,085	4,622	80.4	61.6
多賀町	7,761	7,341	6,929	6,512	6,091	5,673	5,249	83.9	67.6

※表内の色分け 100以上…緑色 滋賀県(92.8)以上100未満…黄色 滋賀県未満…赤色

3. 「老年人口」の割合は、全国で下から3番目の32.8%

次に、人口構成比を0-14歳の「年少人口」、15-64歳の「生産年齢人口」、65歳以上の「老年人口」の年齢別3区分と、「老年人口」のうち「75歳以上人口」についてみてみる

全国をみると（表3）、2010年時点では、「年少人口」の割合は13.1%、「生産年齢人口」の割合は63.8%、「老年人口」の割合は23.0%、うち「75歳以上の人口」は11.1%だった。40年には、「年少人口」の割合が10.0%（▲3.1ポイント）、「生産年齢人口」の割合が53.9%（▲9.9ポイント）に下落する。一方で、「老年人口」の割合が36.1%（+13.1ポイント）、「75歳以上」の割合は20.7%（+9.6%）まで上昇する。滋賀県を含むすべての都道府県で「年少人口」と「生産年齢人口」の割合が下落し、「老年人口」の割合が上昇し、さらに高齢化が進行する見通しとなる。

滋賀県をみると、10年の「年少人口」の割合は15.0%（全国2位）、「生産年齢人口」の割合は64.4%（同9位）、「老年人口」の割合は20.7%（下から6番目）で、うち「75歳以上」の割合は10.1%（下から8番目）だった。40年には、「年少人口」の割合が▲3.3ポイントの11.7%（全国2位）、「生産年齢人口」の割合が▲8.8ポイントの55.6%（同4位）、「老年人口」の割合が+12.1ポイントの32.8%（下から3番目）、うち「75歳以上人口」の割合が+8.4ポイントの18.5%（下から4番目）となる。

表3 都道府県別 年齢別人口構成比

平成22(2010)年		(単位:%)				→	平成52(2040)年		(単位:%)			
地	域	0-14歳	15-64歳	65歳以上	うち75歳以上		地	域	0-14歳	15-64歳	65歳以上	うち75歳以上
全	国	13.1	63.8	23.0	11.1		全	国	10.0	53.9	36.1	20.7
北	海	11.9	63.4	24.7	12.2		北	海	8.4	50.8	40.7	25.1
青	森	12.5	61.7	25.8	13.1		青	森	8.6	49.9	41.5	25.8
岩	手	12.7	60.1	27.2	14.5		岩	手	9.5	50.7	39.7	24.9
宮	城	13.1	64.5	22.3	11.4		宮	城	9.8	54.0	36.2	21.8
秋	田	11.4	59.0	29.6	16.1		秋	田	8.3	47.9	43.8	28.4
山	形	12.8	59.6	27.6	15.5		山	形	9.9	50.8	39.3	25.1
福	島	13.6	61.3	25.0	13.5		福	島	9.8	50.8	39.3	24.6
茨	城	13.5	64.0	22.5	10.7		茨	城	10.1	53.6	36.4	21.2
栃	木	13.5	64.5	22.1	10.9		栃	木	10.3	53.4	36.3	21.1
群	馬	13.7	62.7	23.6	11.7		群	馬	10.4	53.0	36.6	21.2
埼	玉	13.3	66.3	20.4	8.2		埼	玉	9.9	55.1	34.9	19.0
千	葉	13.0	65.5	21.5	9.1		千	葉	9.8	53.7	36.5	20.4
東	京	11.3	68.3	20.4	9.4		東	京	8.6	57.9	33.5	17.4
神	奈	13.1	66.6	20.2	8.8		神	奈	9.8	55.2	35.0	19.1
新	潟	12.7	61.0	26.3	14.1		新	潟	9.7	51.6	38.7	23.8
富	山	13.0	60.8	26.2	13.5		富	山	9.9	51.7	38.4	22.5
石	川	13.6	62.6	23.7	12.1		石	川	10.5	53.4	36.0	21.0
福	井	13.9	60.9	25.2	13.5		福	井	10.8	51.7	37.5	22.9
山	梨	13.4	62.0	24.7	12.8		山	梨	9.8	51.4	38.8	23.2
長	野	13.7	59.7	26.5	14.2		長	野	10.5	51.1	38.4	22.9
岐	阜	13.9	62.0	24.1	11.8		岐	阜	10.6	53.2	36.2	21.1
静	岡	13.6	62.6	23.8	11.5		静	岡	10.5	52.5	37.0	21.6
愛	知	14.4	65.3	20.3	8.9		愛	知	11.3	56.3	32.4	17.6
三	重	13.7	62.1	24.3	12.0		三	重	10.5	53.5	36.0	20.7
滋	賀	15.0	64.4	20.7	10.1		滋	賀	11.7	55.6	32.8	18.5
京	都	12.7	63.9	23.4	11.1		京	都	9.7	53.9	36.4	21.0
大	阪	13.2	64.4	22.4	9.5		大	阪	9.7	54.3	36.0	19.7
兵	庫	13.6	63.3	23.1	10.8		兵	庫	10.1	53.5	36.4	20.7
奈	良	13.1	62.8	24.0	11.1		奈	良	9.7	52.2	38.1	22.5
和	歌	12.8	59.8	27.4	14.0		和	歌	9.4	50.8	39.9	24.1
鳥	取	13.3	60.4	26.4	14.6		鳥	取	10.5	51.3	38.2	23.9
島	根	12.9	58.1	29.1	16.6		島	根	10.5	50.4	39.1	24.7
岡	山	13.6	61.2	25.2	13.0		岡	山	11.0	54.3	34.8	20.4
広	島	13.5	62.5	24.0	11.9		広	島	10.7	53.2	36.1	21.3
山	口	12.7	59.3	28.0	14.6		山	口	10.2	51.5	38.3	23.4
徳	島	12.3	60.6	27.0	14.7		徳	島	9.2	50.5	40.2	25.0
香	川	13.3	60.9	25.9	13.7		香	川	10.3	51.8	37.9	22.7
愛	媛	12.9	60.4	26.7	14.1		愛	媛	10.0	51.3	38.7	23.7
高	知	12.1	59.0	28.8	15.9		高	知	9.2	49.8	40.9	25.7
福	岡	13.5	64.2	22.3	11.0		福	岡	10.6	54.1	35.3	20.9
佐	賀	14.5	60.9	24.6	13.4		佐	賀	11.6	52.9	35.5	22.1
長	崎	13.6	60.4	26.0	14.0		長	崎	10.4	50.3	39.3	24.8
熊	本	13.7	60.6	25.7	14.1		熊	本	11.2	52.4	36.4	22.9
大	分	13.0	60.3	26.6	14.2		大	分	10.6	52.7	36.7	22.7
宮	崎	14.0	60.2	25.8	13.9		宮	崎	11.4	51.6	37.0	23.6
鹿	児	13.7	59.8	26.5	14.9		鹿	児	11.2	51.3	37.5	23.9
沖	縄	17.7	64.9	17.4	8.7		沖	縄	13.9	55.7	30.3	17.5

4. 「老年人口」の割合は、15市町で30%を超える

年齢別人口構成比を県内19市町別にみると（表4）、2010年時点では「年少人口」の割合は13.0%から19.5%で、5市町で「滋賀県」を上回った。「生産年齢人口」の割合は57.5%から68.6%で、8市町で「滋賀県」を上回った。「老年人口」の割合は、14.6%から29.5%で9市町で「滋賀県」を下回り、うち「75歳以上人口」の割合は7.0%から16.7%で、7市町で「滋賀県」を下回った。

40年には全国同様、県内すべての市町で「年少人口」と「生産年齢人口」の割合が低下し、「老年人口」、「75歳以上人口」の割合が上昇する。「年少人口」の割合は、9.3%から15.5%の間で、「滋賀県」を上回るのは7市町。「生産年齢人口」の割合は50.1%から60.2%で、「滋賀県」を上回るのは8市町。「老年人口」の割合は26.2%から41.2%で、「滋賀県」を下回るのは7市町。「75歳以上人口」の割合は12.4%から26.2%で、「滋賀県」を下回るのは7市町。

特に「老年人口」は15市町で30%を超え、市町間の差は最大で15ポイントとなる（栗東市：26.2、多賀町：41.2）。また、「75歳以上人口」では11市町で20%を超え、市町間の差は最大で13.8ポイントとなる（栗東市：12.4、多賀町：26.2）。

全体的に少子高齢化が進展する中、地域差が拡大するとみられる。

表4 県内市町別 年齢別人口構成比

平成22年(2010)年					➡	平成52年(2040)年				
自治体	0-14歳	15-64歳	65歳以上	うち75歳以上		自治体	0-14歳	15-64歳	65歳以上	うち75歳以上
滋賀県	15.0	64.4	20.7	10.1		滋賀県	11.7	55.6	32.8	18.5
大津市	14.6	64.8	20.6	9.6		大津市	10.9	54.1	35.0	20.0
彦根市	14.8	64.6	20.6	10.3		彦根市	11.6	55.8	32.6	18.2
長浜市	14.7	61.5	23.8	12.4		長浜市	11.1	54.8	34.1	19.6
近江八幡市	14.2	64.1	21.7	10.3		近江八幡市	11.9	56.5	31.6	17.9
草津市	14.4	69.0	16.6	7.0		草津市	11.6	60.2	28.2	14.6
守山市	17.2	65.2	17.6	7.9		守山市	14.1	56.8	29.1	15.3
栗東市	19.5	65.9	14.6	6.0		栗東市	15.5	58.4	26.2	12.4
甲賀市	14.7	63.2	22.1	11.4		甲賀市	11.1	54.8	34.1	20.2
野洲市	15.2	64.7	20.1	8.9		野洲市	12.3	55.7	32.1	17.5
湖南市	14.7	68.6	16.7	7.1		湖南市	10.1	55.5	34.4	20.3
高島市	12.8	59.3	27.9	14.9		高島市	9.3	50.1	40.6	25.7
東近江市	15.3	63.2	21.5	11.3		東近江市	11.8	54.1	34.2	20.3
米原市	14.4	60.3	25.4	13.9		米原市	10.5	53.6	35.9	21.8
日野町	13.3	62.4	24.3	13.5		日野町	10.3	56.1	33.6	20.0
竜王町	13.3	67.8	18.9	9.7		竜王町	10.7	55.6	33.7	21.3
愛荘町	17.2	62.9	19.9	10.7		愛荘町	14.9	57.8	27.3	14.7
豊郷町	14.2	61.1	24.7	13.6		豊郷町	12.8	51.9	35.3	22.1
甲良町	13.5	60.9	25.6	12.9		甲良町	9.2	51.8	39.0	23.2
多賀町	13.0	57.5	29.5	16.7		多賀町	9.8	49.0	41.2	26.2

※表内の色分け

- ・「0-14歳」、「15-64歳」→滋賀県以上…緑色 滋賀県と同数…黄色 滋賀県未満…赤色
- ・「65歳以上」→滋賀県未満…緑色 滋賀県と同数…黄色 滋賀県以上…赤色

5. 住民主体での地域づくりによる、県全体の活性化を期待

今回の推計では、2040年には日本全体の人口数が10年と比べて16.2%減少し、65歳以上の「老年人口」の割合が36.1%（10年比+13.1ポイント）になるなど、人口減少と少子高齢化の更なる深刻化が見込まれる結果となった。

滋賀県は人口減少率、老年人口の割合ともに、「全国で下から3番目」と推計されているが、3人に1人（32.8%）が65歳以上で、また5人に1人（18.5%）が75歳以上という状況は、決して楽観できるものではない。また、県内市町別で見ると、人口増減、年齢別人口構成比ともに一部の地域とその他では差が拡大するとみられる。

これからは若者が定着でき、また高齢者の経験とやる気を生かせる地域づくりが重要になってくる。われわれ住民が地域づくりに積極的にかかわることで、県全体の魅力がさらに高まることを期待したい。

2013年5月
しがぎん経済文化センター
中村 雅臣